

資生堂、2026 中国化粧品科学技術大会で 最も優秀な研究論文として「1 等賞」を受賞

株式会社資生堂(以下、資生堂)は、中国香料香精化粧品工業協会が主催する、2026 中国化粧品科学技術大会(2026 年 5 月 20 日~22 日、中国・広東省広州市)における優秀論文として、138 件の論文エントリーの中から「1 等賞」、「2 等賞」、「3 等賞」2 件、「優秀賞」を受賞しました。また、同協会が主催する 2026 中国香料香精科学技術大会(2026 年 4 月 21 日~23 日、中国江西省吉安市)において、71 件の論文エントリーの中から「2 等賞」を受賞しました。これらの受賞は研究内容に加え、中国化粧品業界の技術進歩への貢献が評価されたもので、今回、2 つの大会において当社がエントリーした 6 件の論文全てが受賞しました。このうち「1 等賞」を受賞した論文を含む 2 件は、中国現地の研究所で企画・推進まで全てをリードし創出された技術に関するものです。また、各分野で最も優秀な研究に贈られる「1 等賞」については、資生堂として通算 10 回目の受賞となります。これら、グローバルな研究開発ネットワークを活かして生み出された最新研究や高い技術を、グローバルに展開する「SHISEIDO」や「エリクシール」などの化粧品開発へ幅広く活用していきます。



授賞式にて 1 等賞を受け取る余琛(シェー チェン) 研究員

1 等賞を受賞した研究論文の概要

タイトル	皮膚老化を制御する新規因子の発見: 真皮-表皮の恒常性維持に向けた、テロサイトによる WNT シグナル経路調節の動的メカニズム
発表者	資生堂 中国イノベーションセンター 余琛(シェー チェン) 研究員
論文の概要	<p>皮膚の老化は、細胞間のコミュニケーションが破綻することで進行することが知られています。近年、「テロサイト(以下、TC)」と呼ばれる細胞が、様々な臓器・組織の細胞間コミュニケーションにおいて重要な役割を担っていることが明らかになってきましたが、TC の皮膚内部での働きや老化との関係性は明らかになっていませんでした。本研究では、若齢層および高齢層の皮膚を比較解析することで、TC が加齢に伴って顕著に減少していることを発見しました。さらに、若齢層と高齢層の TC 及び表皮細胞の遺伝子発現を解析したところ、若齢層の TC は表皮細胞とコミュニケーションし、肌のターンオーバーや紫外線防御機能に関わる遺伝子発現を高めることを明らかにしました。これらの発見は、TC が肌本来の若々しさを保つための重要な役割を担っていることを示唆しています。本研究成果により、TC を介した「細胞間コミュニケーションの活性化」という新たな視点から、画期的なエイジングケアソリューションの実現が期待されます。</p>



中国香料香精化粧品工業協会

中国香料香精化粧品工業協会 (China Association of Fragrance Flavour and Cosmetic Industries, CAFFCI) はエッセンス・香料、化粧品および化粧品の原料、機器、包装、関連研究開発、デザイン、教育などの企業、機関、および個人で構成された非営利団体です。中国化粧品科学技術大会は年に一度^{※1}開催される、化粧品に関する研究発表と学術討論の一大発表会であり、論文賞には、中国国内外の多くの企業・大学・研究機関が参加し、中国化粧品産業の技術進歩に貢献する優秀な論文が選考されています。

※1 2025 年以降、毎年開催に変更。また、同年よりフレグランス部門は、中国香料香精科学技術大会として独立して開催。

関連する過去のプレスリリース

- ・ 第 15 回中国化粧品学術研究会で、資生堂がリードする肌の「たるみ」研究知見が 1 等賞を受賞 (2024 年)
https://corp.shiseido.com/jp/newsimg/3838_g8u84_jp.pdf
- ・ 紫外線を肌に良い作用をもたらす光へと変換する革新技術で第 14 回中国化粧品学術研究会にて 1 等賞受賞 (2023 年)
https://corp.shiseido.com/jp/newsimg/3571_g1h55_jp.pdf
- ・ 第 13 回中国化粧品学術研究会において「1 等賞」、「2 等賞」、「3 等賞」をトリプル受賞 (2020 年)
https://corp.shiseido.com/jp/newsimg/2957_f7f99_jp.pdf

中国化粧品科学技術大会における資生堂の受賞歴

開催年	受賞	タイトル
2026 年(第 17 回)	1 等賞	皮膚老化を制御する新規因子の発見:真皮-表皮の恒常性維持に向けた、テロサイトによる WNT シグナル経路調節の動的メカニズム
	2 等賞	顔のたるみとコラーゲンの立体的な構造の関係性の解明
	3 等賞	新たなスキンケアアプローチ:表皮における水分子の運動性の制御
	優秀賞	表皮バリア機能の向上および炎症鎮静化における IDO-Kyn-AhR 軸の役割
2025 年(第 16 回)	2 等賞	肌ダメージの兆候を自律的に検出・修復する革新的スキンケアシステムの開発
	2 等賞	外因性老化因子にもとづくパーソナライズド 4D 顔老化シミュレーション
	3 等賞	中国人皮膚における糖化影響評価と AGEs 分解原料の探索及び化粧品応用 皮膚各層の弾性バランスに基づくシワ形成の理解:抗シワ戦略への示唆
2024 年(第 15 回)	優秀賞	動的 UV 防御 ~傷を自動で修復する日焼け止め製剤~
	1 等賞	肌の抗重カシステム『ダイナミックベルト』の解明 ~皮膚解析を革新する「4D デジタルスキン」の開発~
	2 等賞	高分子保湿剤が肌内部で働く、革新的な年齢肌用スキンケア ~ヒアルロン酸を送達し効果を高める体積制御技術~
	2 等賞	納豆菌の同種菌の発酵から得られる環状ペプチドのスキンケア機能の探求
2023 年(第 14 回)	優秀賞	容器のライフサイクルにおける CO ₂ 排出量削減のための充填・成形技術について
	1 等賞	太陽光エネルギーを利用したバイオメティック(生物模倣)・スキンケア
	2 等賞	次世代型ウェアラブルスキン~顔面形状のリモデリング製剤~
	2 等賞	新たな抗老化スキンケアアプローチ ~化粧品と物理刺激の併用が最も効果的に肌のたるみを改善する~
2020 年(第 13 回)	2 等賞	公共データベース情報の再解析を用いた新規光老化関連遺伝子の発見
	1 等賞	肌内部の毛細血管の可視化とハリとの関係性の解明酵母エキスは毛細血管機能を改善することでコラーゲン産生を促す

	2等賞	肌における感覚神経の新たな役割の発見と神経細胞を活性化して肌のコラーゲン産生を高めるラベンダーオイル
	3等賞	首のシワを有意に改善するレチノールの有効性
2018年(第12回)	1等賞	シワ形成における角層の役割解明と抗シワスキンケアの開発
	2等賞	革新的なアンチエイジングスキンケアの開発汗腺の収縮による肌老化メカニズムの発見:「真皮空洞化」
	2等賞	リンパ管の機能低下が引き起こす皮膚老化メカニズムの解明に基づくリンパ機能を促進する抗老化成分の開発
2016年(第11回)	2等賞	皮膚の係留構造とその加齢変化の解明に基づく新たな抗老化スキンケア
	2等賞	化粧品成分の光安全性評価における活性酸素分析の応用
	3等賞	水に応答する自律性塗布膜の開発と革新的サンスクリーンの応用
	優秀賞	皮膚恒常性の破壊と細胞外 ATP の反応における役割の体外実証
2014年(第10回)	1等賞	中国女性における肌の老化関連酵素セラチナーゼの発現に関する研究とセラチナーゼ抑制剤配合化粧品の開発
	2等賞	ITS手法を用いた化粧品素材の皮膚感作性評価法開発
	3等賞	D アミノ酸:皮膚恒常性維持機能やバリア回復機能等を有する新規アミノ酸群
2012年(第9回)	1等賞	アジア人の肌における光老化皮膚でみられる黄色化と、真皮カルボニル化との関連
	2等賞	PDME は SDS で誘導された乾燥肌の角層細胞間脂質の構造
	3等賞	耐水性、洗浄性に優れた刺激応答性ポリマー被覆粉末の開発とサンスクリーン製剤への応用
	優秀賞	in vivo SPF 試験条件を反映した新規 in vitro SPF 試験法
2010年(第8回)	2等賞	表皮肌荒れ原因因子の解明と肌質改善成分の開発
2008年(第7回)	3等賞	中国女性の眼袋に関する基礎研究
2006年(第6回)	1等賞	血管新生が仲介する新しい光障害メカニズムの解明とそのメカニズムに立脚した傷害防止成分の開発
	3等賞	中医美白処方の日本人女性に対する科学的皮膚評価
2004年(第5回)	1等賞	肌荒れの発生機序と新規有効成分の開発に関する研究
	2等賞	ビタミン A 誘導体安定配合製剤の開発
	3等賞	乾燥肌及びニキビ肌用化粧品への生薬の応用とその効果の分析
2002年(第4回)	1等賞	植物組織培養技術を応用した新皮膚賦活薬剤「サイコエキス BS」の開発
	3等賞	O/W/O 型マルチプルエマルジョンの特性と応用
2000年(第3回)	2等賞	精神ストレスの皮膚への影響と香りによる改善効果

※資生堂は、2000年の第3回より本学会に参加しています。

中国香料香精科学技術大会における資生堂の受賞歴

開催年	受賞	タイトル
2026年(第16回)	2等賞	高覚醒を伴う緊張性不安に対するアニスアセトンとレッドシダーの調節効果

※2025年は論文賞の実施がありませんでした。